

科目名	思春期ヘルスケア (Adolescent Health Care)			科目コード	S113
単位数	1 単位	選択区分	選 択	時間数	15時間
区 分	助産学基礎領域	学 期	前 期	関連DP	助①②③
担当教員	中越 利佳				
授業概要	思春期の発達課題、健康課題を中心とした支援について教授し、地域の思春期集団を対象とした健康教育について企画、演習を行う機会を設定する。				
授業目標	思春期の特徴を理解し、リプロダクティブヘルス/ライツの視点に立った健康教育の実際を修得することができる。				

#### 授業計画

回	項目	内容
1	思春期の健康課題と健康問題 思春期の性	リプロダクティブヘルス/ライツからみた思春期の健康課題と健康問題 思春期の性意識と性行動の実態
2	思春期健康教育の意義と課題	学校教育における性に関する健康教育の現状と課題 助産師が行う思春期健康教育の実践例 (思春期前期～中学生、高校生、保護者) 思春期健康教室模擬授業オリエンテーション
3～4	思春期健康教育の実際と展開 方法①	思春期健康教育の企画書・指導案作成 (グループワーク)
5～6	思春期健康教育の実際と展開 方法②	思春期健康教育のための指導案・教材作成、模擬授業の準備 (グループワーク)
7～8	思春期健康教育の演習	指導案発表、模擬授業の実施 模擬授業の質疑応答、相互評価 まとめ
成績評価方法	授業案の完成度 (30%)、模擬授業の完成度 (50%) グループワークの積極的貢献度 (ピアレビュー10%) レスポンスカードの記載内容 (10%) で評価する。	
教科書	堀内成子 「助産学講座5 助産診断・技術学 I」 (医学書院)	
参考図書等	参考図書は適宜紹介	
授業時間外の学習について	指導案、教材の作成および模擬授業の準備は、グループワークの進行状況により授業時間外学習となる場合がある。	
関連科目	101 助産学概論 112 ウイメンズヘルケア	
備 考	本講義は受胎調節実地指導員資格取得に必要な単位を含んでいる。	